

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【公表番号】特表2010-537910(P2010-537910A)

【公表日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-524103(P2010-524103)

【国際特許分類】

B 6 5 D 1/02 (2006.01)

B 6 5 D 1/26 (2006.01)

B 6 5 D 25/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 1/02 B

B 6 5 D 1/26 A

B 6 5 D 25/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月29日(2011.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器において、

上側壁端及び下側壁端にて終わる全体として剛性で連続的な側壁であって、該連続的な側壁により境が設定される内部空間を規定する前記剛性で連続的な側壁と、

前記下側壁端を閉じる底部と、

前記側壁の一部分を形成し且つ上側壁端の少なくとも一部分を形成するように伸びる内方に可撓性のパネルであって、流体の流れを妨害しないよう全体として滑らかな内面を有する前記内方に可撓性のパネルと、を備える、容器。

【請求項2】

請求項1に記載の容器において、前記上側壁端に装着された縁部を更に備える、容器。

【請求項3】

請求項2に記載の容器において、前記縁部はスポンジ材料から成る、容器。

【請求項4】

請求項2に記載の容器において、前記縁部はゴムから成る、容器。

【請求項5】

請求項2に記載の容器において、前記縁部は布から成る、容器。

【請求項6】

請求項1に記載の容器において、ハンドルを更に備える、容器。

【請求項7】

請求項1に記載の容器において、前記容器の内部を分割する仕切り部であって、前記可撓性のパネルに対して全体として平行に向き決めされる前記仕切り部を更に備える、容器。

【請求項8】

請求項1に記載の容器において、前記容器の内部を分割すると共に、前記底部と接触し、前記内部の第一及び第二の流体保持部分を規定する

仕切り部であって、前記可撓性のパネルに対して全体として平行に向き決めされる前記仕

切り部を更に備え、前記第一及び第二の流体保持部分は、前記可撓性のパネルに対して押し付けられた対象物上に流体をほぼ同時に注ぐよう作用するようにした、容器。

【請求項 9】

容器において、

上側壁端及び下側壁端を有する、全体として剛性で連続的な側壁であって、該連続的な側壁により境が設定される内部空間を規定する前記剛性で連続的な側壁と、

前記下側壁端に装着された底部と、

前記上側壁端に接続された縁部と、

前記縁部が押し付けられる対象物の形状に適合するよう十分に内方に可撓性の前記縁部の一部分と、

前記側壁の一部分を形成し且つ前記内方に可撓性の縁部分と接続する内方に可撓性のパネルであって、流体の流れを妨害しないよう全体として滑らかな内面を有する前記内方に可撓性のパネルと、を備える、容器。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の容器において、前記側壁の少なくとも一部分は、凹状であり、該凹状の側壁部分は、可撓性の材料から成る縁部分を有する、容器。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の容器において、前記縁部はスポンジ材料から成る、容器。

【請求項 12】

請求項 10 に記載の容器において、前記縁部はゴムから成る、容器。

【請求項 13】

請求項 10 に記載の容器において、前記縁部は布から成る、容器。

【請求項 14】

請求項 9 に記載の容器において、ハンドルを更に備える、容器。

【請求項 15】

請求項 9 に記載の容器において、前記容器の内部を分割する仕切り部であって、前記可撓性のパネルに対して全体として平行に向き決めされる前記仕切り部を更に備える、容器。

【請求項 16】

請求項 9 に記載の容器において、前記容器の内部を分割すると共に、前記底部と接触し、前記内部の第一及び第二の流体保持部分を規定する仕切り部であって、前記可撓性のパネルに対して全体として平行に向き決めされる前記仕切り部を更に備え、前記第一及び第二の流体保持部分は、前記可撓性のパネルに対して押し付けられた対象物上に流体をほぼ同時に注ぐよう作用するようにした、容器。

【請求項 17】

容器において、

容器本体を規定する、前記側壁の上端及び下端側壁を有する、全体として剛性で連続的な側壁と、

内側の流体保持内部を規定するように前記下側壁端に結合された底部と、を備え、前記上端は、

可撓性の縁セグメントを有する縁部を備え、

前記可撓性の縁部セグメントに隣接する前記側壁内の空隙と、

該側壁の空隙に渡り且つ前記可撓性の縁部セグメントと接続するように伸びる内方に可撓性のパネルであって、流体の流れを妨害しないよう全体として滑らかな内面を有し、該可撓性のパネルに対して押し付けられる対象物の形状に適合可能な前記内方に可撓性のパネルと、

前記内部を分割し且つ前記底部と接触して前記内部の第一及び第二の流体保持部分を規定する仕切り部であって、前記可撓性のパネルに対して全体として平行に向き決めされた前記仕切り部とを備え、前記第一及び第二の流体保持部分は、前記可撓性のパネルに対して押し付けられる対象物に流体をほぼ同時に注ぐよう作用する、容器。

【請求項 18】

請求項 1 7 に記載の容器において、前記縁セグメントはスポンジ材料から成る、容器。

【請求項 1 9】

請求項 1 7 に記載の容器において、前記縁セグメントはゴム材料から成る、容器。

【請求項 2 0】

請求項 1 7 に記載の容器において、前記縁セグメントは
前記可撓性のパネルから成る、容器。

【請求項 2 1】

請求項 1 7 に記載の容器において、ハンドルを更に備える、容器。

【請求項 2 2】

容器において、

上部側壁端部及び下部側壁端部を有し、該側壁は容器本体を規定する、全体として剛性で連続的な側壁であって、前記側壁は略平坦な側壁部分を規定する一部を有する前記連続的な側壁と、

前記上部側壁端部が略開放された状態で、内側の流体保持内部を規定するように前記下部側壁端部に結合された底部であって、該上部側壁端部は、可撓性の縁セグメントを有する前記上部側壁端部上の縁部を備える前記底部と、

少なくとも前記略平坦な側壁部分の一部を備える内方に可撓性のパネルであって、該可撓性のパネルの該可撓性縁セグメントを形成するように伸びる前記可撓性のパネルであつて、前記開放した上部側壁端部からの全体として妨害されない流れを提供し且つ該可撓性のパネルに対して押し付けられる対象物の形状に略適合可能な前記内方に可撓性のパネルと、

前記内部にわたっており且つ前記底部と接触して前記内部の第一及び第二の流体保持部分を規定する湾曲した仕切り部であって、前記可撓性のパネルに対して全体として平行に向き決めされ、且つ前記第一及び第二の流体保持部分が、前記可撓性のパネルに対して押し付けられる対象物に流体をほぼ同時に注ぐよう作用する前記仕切り部とを備える、容器。

【請求項 2 3】

請求項 2 2 に記載の容器において、前記縁セグメントはスポンジ材料から成る、容器。

【請求項 2 4】

請求項 2 2 に記載の容器において、前記縁セグメントはゴム材料から成る、容器。

【請求項 2 5】

請求項 2 2 に記載の容器において、前記縁セグメントは織地 (f a b r i c) から成る、容器。

【請求項 2 6】

請求項 2 2 に記載の容器において、前記側壁に接続されたハンドルを更に有する、容器。

【請求項 2 7】

請求項 2 2 に記載の容器において、前記可撓性パネルはゴム材料から成る、容器。

【請求項 2 8】

容器において、

上部側壁端部及び下部側壁端部を有し、該側壁は容器本体を規定する、全体として剛性で連続的な側壁であって、前記側壁は略平坦な側壁部分を規定する一部を有する前記連続的な側壁と、

前記上部側壁端部が略開放された状態で内側の流体保持内部を規定するように前記下部側壁に結合された底部と、

少なくとも前記略平坦な側壁部分の一部を備える内方に可撓性のパネルであって、該可撓性のパネルは、前記開放した上部側壁端部からの全体として妨害されない流れを提供し且つ該可撓性のパネルに対して押し付けられる対象物の形状に略適合可能な前記内方に可撓性のパネルと、

前記流体保持内部にわたっており且つ前記底部と接触して前記流体保持内部の第一及び第二の流体保持部分を規定する湾曲した仕切り部であって、該仕切り部は前記可撓性のパ

ネルに対して全体として平行に向き決めされ、該仕切り部の曲率は前記可撓性パネルの方へ湾曲しており、前記第一及び第二の流体保持部分が、前記可撓性のパネルに対して押しつけられる対象物に流体をほぼ同時に注ぐよう作用する前記仕切り部とを備える、容器。

【請求項 29】

請求項 28 に記載の容器において、前記側壁に接続されたハンドルを更に有する、容器。

【請求項 30】

請求項 28 に記載の容器において、前記可撓性パネルはゴム材料から成る、容器。

【請求項 31】

請求項 28 に記載の容器において、少なくとも前記上部側壁端部の部分に接続された縁セグメントを備える、容器。

【請求項 32】

請求項 31 に記載の容器において、前記縁セグメントはスポンジ材料から成る、容器。

【請求項 33】

請求項 31 に記載の容器において、前記縁セグメントはゴム材料から成る、容器。

【請求項 34】

請求項 31 に記載の容器において、前記縁セグメントは織地から成る、前記可撓性パネルはゴム材料から成る、容器。

【請求項 35】

容器において、

上部側壁端部及び下部側壁端部を有し、該側壁は内方の内部スペースを規定する、全体として剛性で連続的な側壁であって、前記側壁は略平坦な側壁部分を規定する部分を有する前記連続的な側壁と、

前記下部側壁端部を閉じる底部と、

前記略平坦な側壁部分の一部を形成し且つ前記上部側壁端部の一部を形成するよう伸びる内方に可撓性のパネルであって、該可撓性のパネルは、該可撓性のパネルに対して押しつけられる対象物の形状に略適合可能なように内方へ撓むときに前記内部スペース内へ移動し、該可撓性のパネルは妨害されない流体の流れのための円滑な内面を有する前記内方に可撓性のパネルとを備える、容器。

【請求項 36】

請求項 35 に記載の容器において、前記上部側壁端部に取付けられた縁部を備える、容器。

【請求項 37】

請求項 36 に記載の容器において、前記縁部はスポンジ材料から成る、容器。

【請求項 38】

請求項 36 に記載の容器において、前記縁部はゴム材料から成る、容器。

【請求項 39】

請求項 36 に記載の容器において、前記縁部は織地から成る、前記可撓性パネルはゴム材料から成る、容器。

【請求項 40】

請求項 35 に記載の容器において、ハンドルを更に有する、容器。

【請求項 41】

容器において、

上部側壁端部及び下部側壁端部を有し、該側壁は内方の内部スペースを規定する、全体として剛性で連続的な側壁と、

前記下部側壁端部を閉じる底部とを備え、

前記上部側壁端部は、可撓性の縁部セグメントを有する縁部を含み、

前記側壁は略平坦な側壁部分を含み、且つ該略平坦な側壁部分は内方に可撓性のパネルを含み、該内方に可撓性のパネルは前記可撓性縁部セグメントを形成するよう伸びており、

前記内方に可撓性のパネル及び前記可撓性の縁部セグメントは、前記可撓性のパネルに

対して押し付けられる対象物の形状に略適合可能なように内方へ撓むときに前記内部スペース内へ移動する、容器。

【請求項 4 2】

請求項 4 1 に記載の容器において、前記縁部はスポンジ材料から成る、容器。

【請求項 4 3】

請求項 4 1 に記載の容器において、前記縁部はゴム材料から成る、容器。

【請求項 4 4】

請求項 4 1 に記載の容器において、前記縁部は織地から成る、容器。

【請求項 4 5】

請求項 4 1 に記載の容器において、ハンドルを更に有する、容器。